

名寄での半年

寄市に引越してき
ました。

ずっと学びたかつた保育を学べる嬉しさ、憧れのひとり暮らしへの楽しみ、新しい環境でうまく生活していけるかの不安など、さまざまな感情を持ちながら名寄に来たことを覚えていきます。

挑戦することが苦手な私が入学して初めて大きなことに挑戦したのが、7月に行われた名大祭で学

科ブーススタッフとして子どもたちと一緒に制作をしたということです。

子どもたちと触れ合うのは入学してから名大祭が初めてだったためともわくわくしていました。準備ではどんなものを作るのか、下準備はどこまでするかなど、他のブーススタッフの同級生や先輩たちと一緒に1から考えました。

当日は、月齢に合

わせて言葉を選んで作り方を教えたり、どこまで手伝うべきか考えたりするのがとても難しく苦戦しました。しかし実際に子どもたちと触れ合うことで気づく学

びが多く、最後までやり切った達成感もあつたためやっつけ良かったと心から思えました。

学校や学科規模で行われる大きな行事も楽しいことばかりですが、普段の授業

や友人と過ごす何気ない日常も楽しいことばかりです。社会保育学科では、講義中は先生の話を聞くだけでなく、さらに学びを深めるためにグループワークで意見を共有したり、実際に体を動かしたりします。

そのため90分の授業の満足感が高く、楽しみながらも学びはしっかりと身につきます。普段の生活では、友人と一緒にご飯を食べたりドラマや映画を見たり散歩に出かけたりします。ひとり暮らしで



きてもう半年が経ってしまっています。

と4年間の大学生活もあつという間に過ぎてしまおうのだと思います。やり残した

実家が恋しいこともあります。授業終りや休みの日に友人と過ごす時間が寂しさを紛らわせてくれます。

ことがないよう、勉学に励みながら名寄での生活を最大限に満喫したいと思えます。

社会保育学科1年
長谷川美里